

いわて平泉米だより

令和元年8月号

生産者がPR

生産者
店頭で呼び込みをする



いちのせき米クラブは7月6日、大阪府のいずみ市民生協で販売促進キャンペーンを行いました。いちのせき米クラブとJA職員ら6人が、来店者に試食を勧めながらPRしました。いずみ市民生協から「関西は蒸すような気候で、例年より販売数量が伸び悩んでいる。そんな折にキャンペーンにきていただき非常にありがたい」と話され、米クラブ会員は「熱い言葉をいただき、今後とも生産に励んでいきたい」と力を込めました。

「金色の風」高評価

取扱店を視察した小野会長



JA「金色の風」栽培研究会は7月4、5の両日、首都圏の取扱店を視察し今後の生産や販売に向け意見交換をしました。小野正一会長とJA職員が6店舗を訪問。取扱店からは「金色の風が食味ランキングでA'になったことはそれほど気にしていない」「岩手県産は品質にブレがなく、扱いやすいため評判が良い」「取り扱う卸業者が少なく入手しづらい」などの声が聞かれました。小野会長は「評価が高いことが分かったので、JAのホームページやパンフレットなどで今まで以上にアピールを行い、知名度を上げていきたい」と思いを新たにしました。